



# 藤本 みのる 通信

Vol 424

2024年2月14日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 地域の課題解決が新しい価値！まちづくりの道みえた

2月10日、令和ビックムーンプロジェクト準備会（代表溝口雄二）が大月市民会館でセミナーを開催し、40名が参加しました。うち市議会議員が8名おり、関心の高さを示しました。「農業×福祉×スポーツ」の連携をはかることで、大月市でも地域活性をめざすとしたセミナー&ワークショップの講師は、(株)エススリーブブランディングの川田勝也社長。川田氏はこれまでに、農福連携で地域活性をはかる事業を手がけており、「自然栽培パーティ」「ジャパンフーズプロジェクト」「沖縄クラフトラボ」など大きな成功とムーブメントを起こしている第一人者です。

川田氏は「地域の課題解決に価値を認める時代」と説明し、「SDGsが定着し、大企業だけでなく中小企業でも社会貢献度が銀行融資の条件になっている」ことをあげ、「大月市でも地域おこしに取り組みたいのであれば、『めんどくさいこと』『それは無理だろう』とみんなが思うことにこそ、チャンスがある」と話しました。

私は市民運動でも自治体でも、地域の課題解決に向き合うことこそ、明るさ面白さ躍動感をもたらすと感じました。コロナ禍や人口減により、大月市でも委縮がみられます。私はセミナーに参加し、農福連携が大月市に活力をうむイメージを持ちました。

### ワークショップ

3点でグループ協議をし、最後にブランドを発表

- 1、「地域の課題解決の題材（食材）を一つ決める」
  - 2、「その題材（食材）を使った加工品を一つ決める」
  - 3、「その加工品を農福連携で取り組むときの課題は」
  - 4、ブランドの発表
- 6点を押さえ発表する
- ①ブランド名
  - ②誰に対し
  - ③モノを提供し
  - ④コトを体験してもらい
  - ⑤社会的価値に貢献する
  - ⑥〇〇プロジェクト

講師が「わくわく」としたのは大月市産大麦のクラフトビールでした！

### 【藤本みのる活動日誌】

2月 7日（水） 臨時全員協議会（第8次総合計画案）

2月10日（土） 農福・地域ブランドづくりセミナー（副会長）